

『第2回東北地域中心市街地および商店街関連セミナー』を開催します。

今後の商店街等は、住民ニーズに応えた地域コミュニティ機能への対応や、キャッシュレスなど新しい仕組みの導入によるDX化、加えて、新型コロナウイルスによる新しい日常への変化の取込など、多くの課題に対応していく必要があります。そういった課題に対し、効率的かつ効果的に事業を展開していくために、中心市街地及び商店街の振興に関わる『コーディネーター間及びコーディネーターと行政機関担当者とのネットワークの強化』、『課題の共有化』、『課題検討ノウハウの向上』及び『まちづくり業務に関わる若手のスキルアップ』等を目的とした当該セミナーを開催し、東北地域全体でまちづくりを検討する体制を構築したいと考えております。

今年度第2回目となる今回は、福島県白河市のまちなか再生の取り組みについて、キーとなったプレイヤーや関係機関の巻き込み方といったポイントを紐解き、それぞれの地域に置き換えて考え議論することで、今後のまちづくりを効果的に展開していくための気づきの機会としていただきます。

【対象者】

まちづくり会社、地方公共団体及び支援機関の商店街・中心市街地担当職員等。60名程度を上限に想定。

※一般企業の方の登録については、登録いただいた後、場合により参加目的を確認させていただき、その内容によっては参加をご遠慮いただく場合がございます。

【開催日程・会場】

日程：令和4年3月4日（金曜日）10:00～ ※受付：9:30～

主会場：ハーネル仙台 3階 蔵王B（仙台市青葉区本町2-12-7）

※公共交通機関のご利用をお願いいたします。

【セミナー内容】 ※タイムスケジュール及び内容は当日変更となる場合がございます。

タイムスケジュール		
10:00～10:15(15分)	趣旨説明・挨拶等	
10:15～11:30(75分)	パネルディスカッション	『楽市白河 W 字回復の歩み』 発表者／古川直文氏（株式会社楽市白河） ファシリテーター／下田孝志氏（山形まちづくり株式会社） パネラー／苅谷智大氏（株式会社街づくりまんぼう） 柳沢拓哉氏（株式会社まちづくり八戸） 伊藤大海氏（中心市街地活性化協議会支援センター）
11:30～11:50(20分)	情報提供	○ユニバーサル商店街の取組について ○助け合いポイントの取組について
11:50～12:00(10分)	施策紹介	
12:00～13:00(60分)	休憩	
13:00～15:30(150分)	グループ討議 (5つのグループ毎)	
15:30～16:00(30分)	クロージング	グループ討議の結果発表・講評
16:00～16:30(30分)	閉会・名刺交換	

【申込方法】

以下の申込先メールアドレス宛に別添の申込書に必要事項を明記のうえ、**令和4年2月18日（金）**までにメールにてお申し込みください。（締切厳守）

○申込先：東北経済産業局 商業・流通サービス産業課 宛 Email：thk-shougyou@meti.go.jp

○グループ討議の希望について、申込用紙の2ページ目に各グループのテーマ、概要、リーダーの説明等を記載しておりますので、参考としてください。

【開催可否の判断について】

新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、開催を中止（延期）する場合には、開催日 1 週間前を目処に、参加申込みいただいた際のメールアドレス宛にご連絡いたします。

なお、急な状況の変化などに伴い、開催日直前での中止（延期）の判断をさせていただく場合がございますので、予めご理解いただきますようお願いいたします。

【留意点】

新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、当日はマスク着用のうえ、会場にて消毒・検温にご協力をお願いします。

なお、当日体調が優れない、開催の 2 日前に熱があった場合などには参加をご遠慮いただき、その旨下記問い合わせ先まで電話かメールにてご連絡くださるようお願いいたします。

【主催者等】

主催：東北経済産業局

共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

【本件に関するお問い合わせ先】

東北経済産業局 産業部 商業・流通サービス産業課 担当：小川、田口、梶山、佐藤

〒980-8403 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 3 番 1 号 Tel : 022-221-4914 Email: thk-shougyou@meti.go.jp

<参考> セミナー会場情報

会場：ハーネル仙台

(〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-12-7)

アクセス方法：市営地下鉄広瀬通駅から徒歩約 3 分（出口 西 1 番）

市営地下鉄勾当台公園駅から徒歩 5 分（出口 南 4 番）



『第2回東北地域中心市街地および商店街関連セミナー』

参加申込書

○申込先：東北経済産業局 商業・流通サービス産業課 宛て

Email：thk-shougyou@meti.go.jp ※メールにてお申込ください。

○申込期限：令和4年2月18日（金）※期限厳守

企業・団体名	
住所・所在地	
電話番号	

○参加者名簿

No.	所属 / 役職	メールアドレス	ま ち づ く り 関 連 の 業 務 経 験 年 数	グループ討議の希望：A～E、またはオブ ザーバー参加について、希望する順に1 ～4の数字をご記入ください。 ※ご希望に沿えない場合がございますの で、予めご理解願います。					
	フリガナ 氏名 / 年齢	携帯電話番号 (なければ確実に連絡のとれる番号)		A	B	C	D	E	オブ
例	〇〇課 / 係員	thk-shougyou@meti.go.jp	5	1	4	2			3
	(とうほく たろう) 東北 太郎 / 35	090-〇〇〇〇-□□□□							
1									
2									
3									

注) グループ討議の申込状況によっては、グループ人数の平準化により、希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

- ※ 応募多数で定員を超えた場合には、人数調整をお願いする場合がございます。
- ※ 申込み後のキャンセルは、東北経済産業局 商業・流通サービス産業課 宛てにメールにてご連絡ください。
- ※ グループ討議に関して、事前課題をメールにて送信させていただく場合がございます。
- ※ 個人情報については、本セミナーに係る連絡事務とセミナー当日の名簿にのみ活用させていただきます。

<参考> グループ討議について

各グループのテーマ、概要、リーダーの説明等を以下に記載しておりますので、お申し込みの際の参考としてください。

A) 妄想地図ワークショップ実践で学ぶエリアマネジメント

○リーダー：伊藤大海氏（中心市街地活性化協議会支援センター／まちづくりコンサルタント）

独）中小機構 中活協議会支援センター経営支援専門員。元大分県竹田市タウンマネージャー。コンサルタントとしても活性化プロジェクト企画、実現、運営支援にかかわるほか、中小企業診断士として事業者支援、創業者支援などにも携わる。

（HP：<https://yaruki.info/>）

○概要：限られた地域資源を活かし、プレイヤーを巻き込みながら地域活性化を行うためには、エリアを絞り込んで目指すイメージを共有しながら取り組んでいくことが有効である。その手法の一つである妄想地図制作のワークショップを、福島県白河市の本町北裏界隈を題材に実施し、中心市街地活性化に資するエリアマネジメントやワークショップ手法を学ぶ。

B) 課題解決に資するまちづくり会社の動かし方について

○リーダー：古川直文氏（株式会社楽市白河／福島県白河市）

株式会社楽市白河常勤取締役であり運営責任者として活動。公共施設の管理運営、商業施設の建設・管理運営、マンション建設・管理、宅配弁当事業の運営などを手掛けている。内閣府任命地域活性化伝道師。

（HP：<http://www.rakuichi-shirakawa.co.jp/index.html>）

○概要：前半のパネルディスカッションの白河市の事例も踏まえて、地域の課題解決のケーススタディを通して、まちづくり会社をいかに動かし課題に対応していくべきか、その方法を考える。

C) 指定管理事業の落とし穴（コロナ禍を踏まえて）と地域との合意形成について

○リーダー：苅谷智大氏（株式会社街づくりまんぼう／宮城県石巻市）

株式会社街づくりまんぼう街づくり推進課長として、宮城県石巻市の中心市街地のマスタープランづくり、商店街活性化、マンガを活かしたまちづくり、拠点づくり事業などに携わる。（HP：<https://man-bow.net/>）

○概要：新型コロナの状況等を踏まえた、指定管理事業の推進の難しさといったまちづくり会社が抱えている課題を共有し、その解決方法を探る。また、まちづくり会社が外部機関や人材とどのように繋がり、社内・地域内の合意形成を図りながら事業を進めていくかを考える。

D) 民間ベースで考えるまちづくりと行政との連携のあり方

○リーダー：下田孝志氏（山形まちづくり株式会社／山形県山形市）

山形まちづくり株式会社常務取締役。七日町エリアの魅力や価値の維持・向上を図る事業や活動をマネジメント。七日町商店街振興組合事務局長も担っており、山形市中心市街地の活性化を牽引している。

（HP：<https://yamagata-machizukuri.jp/>）

○概要：有志で「まちづくり会社」を作り、自分たちの街を自ら活性化しようとする動きが出始めている。自治体出資のない民間まちづくり会社の視点で行うまちづくり事業の実例、収益事業化のポイントや手法を学び、民間まちづくり会社の取組に対する行政支援や、連携のあり方についても考える。

E) まちづくりにおける地域資源の発掘方法と人材の巻き込み方

○リーダー：柳沢拓哉（株式会社まちづくり八戸／青森県八戸市）

八戸市中心市街地の公立複合文化施設「八戸ポータルミュージアムはっち」の準備、立ち上げより、企画担当専門職を務め、地域資源を活用した商店街との連携事業等に取り組む。2年前より株式会社まちづくり八戸に移籍し企画事業に携わる。

（HP：<https://www.8town.co.jp/>）

○概要：まちのファンを増やす視点を元にしたプロジェクトやイベントの企画検討から、まちづくり事業における官民での地域資源の発掘方法や活かし方、人材の巻き込み方を学び、今後のまちづくりの展開に必要なポイントや手法を考える。